

燦々

SANSAN
光り輝く

特集

11年ぶりに新嘗祭へ供える稲を刈り取る
畑嶋賢蔵さん献穀田で抜穂祭を執り行う

稲穂に止まる赤トンボ(厚真町)

JAとまこまい広域
燦々光り輝く
No.報誌
230誌



編集・発行

〒059-1693
JAとまこまい広域本所
TEL 0145-272241
FAX 0145-2713941

令和3年10月10日
ホームページアドレス
http://www.ja-tomakomai.co.jp
mailto:info@ja-tomakomai.co.jp

印刷 株式会社 須田製版

令和3年11月からの営業時間一覧表

		本所 厚真支所	上厚真 事業所	早来 支所	追分 支所	穂別 支所	白老 支所	苫小牧 支所	ホクレンショップ 苫小牧店・沼ノ端店	生乳 検査場	死亡牛 処理
一般業務	平日	9:00~17:00	—	9:00~17:00	9:00~17:00	9:00~17:00	8:45~17:00 (12:30~13:30休業)	8:45~17:00	—	持込 12:00まで	9:00~17:00
	土曜日 (1~3月休)	9:00~12:00	—	9:00~12:00	9:00~12:00	9:00~12:00	休業	8:45~12:00	—	持込 10:00まで	9:00~12:00
金融業務 (平日のみ営業)	平日	9:00~16:00	—	9:00~16:00	9:00~16:00	9:00~16:00	9:00~16:00 (12:30~13:30休業)	9:00~16:00	—	—	—
ATM (祝日は休業)	平日	8:45~18:00	8:45~18:00	8:45~18:00	8:45~18:00	8:45~18:00	—	8:45~18:00	9:00~21:00	—	—
	土曜日	9:00~13:00	9:00~13:00	9:00~13:00	9:00~13:00	9:00~13:00	—	9:00~13:00	9:00~17:00	—	—
	日曜日	休業	休業	休業	休業	休業	—	休業	9:00~17:00	—	—
生産資材	平日	9:00~17:00	休業	9:00~17:00	9:00~17:00	9:00~17:00	9:00~16:00 (12:30~13:30休業)	—	セブンイレブン・ ローソンATMの 取扱時間	—	—
	土曜日 (1~3月休)	9:00~12:00	休業	9:00~12:00	9:00~12:00	9:00~12:00	休業	—	—	—	—
農機車両 センター	平日	9:00~17:00	—	—	—	9:00~17:00	—	—	平日8:00~22:00 土曜8:00~21:00 日曜8:00~21:00 祝日8:00~21:00	—	—
	土曜日 (1~3月休)	9:00~12:00	—	—	—	9:00~12:00	—	—	—	—	—
給油所	平日	8:00~18:00	8:00~18:00	8:00~18:00	8:00~18:00	8:00~18:00	—	—	手数料110円/回 の取扱時間	—	—
	土曜日	8:00~17:30	8:00~17:00	8:00~13:00	8:00~13:00	8:00~17:30	—	—	平日8:45~18:00 土曜9:00~14:00	—	—
	祝日	8:00~17:00 (1/1~3/31休業)	休業	休業	休業	8:00~17:00 (1/1~3/31休業)	—	—	上記取扱時間以外 及び日曜・祝日の 手数料220円/回	—	—
	日曜日	休業	休業	休業	休業	休業	—	—	—	—	—
Aコープ (1~3月は祝日休業)	平日 土曜日	9:00~18:00	(Aコープ折坂商店) 7:00~18:30	—	—	9:30~18:00	—	—	—	—	—
	祝日	9:00~17:00	7:00~18:30	—	—	9:30~17:00	—	—	—	—	—
	日曜日	休業	8:00~16:00	—	—	休業	—	—	—	—	—

※1月~3月の毎週土曜日は本支所の金融、共済、生産資材、農機具センター、一般事務の営業を休止とします。(給油所、Aコープ、ATMは営業)
※白老支所は11月1日から営業時間が変更となります。 ※給油所は11月1日から営業時間が変更となります。
※上厚真生産資材の11月1日~3月14日迄は完全閉店とします。(3月15日から3月31日迄の平日は9:00~17:00までの営業となります。また、土曜日は休業となります)
※12月4日から苫小牧支所ATM(苫小牧市大成町)は閉鎖となります。 12月6日よりホクレンショップしらかば店のATMがオープンします。

20周年記念 圃場等立入禁止看板(ステッカー)設置助成事業について

この度、JAとまこまい広域の合併20周年を記念し、土壌菌の流入や家畜伝染病の感染を防ぐための各組合員の圃場及び農業施設等への立ち入りを制限する看板(ステッカー)設置に次のとおり助成をいたします。

1. 看板(ステッカー)デザイン

- ・大きさ 500mm×420mm
- ・材質 塩ビラミネート(耐候・耐水)裏シール
- ・価格(助成後) **500円/枚(税込)**

2. 助成対象

- (1) 正組合員(個人・法人)
- (2) 農協に継続的な出荷実績のある准組合員
- (3) 農協が事務を受託する外郭団体(生産部会)

3. 助成内容

- ・購入費用の50%を助成いたします(表示単価は助成後の単価となっています)
- ・助成上限は同一経営体で10枚までとなります。

4. 申込み方法及び期日

- ・取りまとめ書に必要事項を記入の上、各支所へ申込み下さい。
- ・期日は10月までとなっておりますので、お早めにお申込み下さい。





11年ぶりに新嘗祭へ供える稲を刈り取る 畑嶋賢蔵さん献穀田で 抜穂祭を執り行う



前列左から畑嶋佳奈さんと息子の紬(つむぎ)君、畑嶋みつさん、後列左から渡部厚真町議長、宮田とまこまい広域農協組合長、畑嶋宏謙さん、宮坂厚真町長、畑嶋信子さん、畑嶋賢蔵さん



▲刈り取られた稲穂を刈女へ手渡される様子



▲畑嶋宏謙さん(賢蔵さんの息子)と初めての稲刈を体験する長男の紬君

燦々 SANSAN
光り輝く

No.230 CONTENTS

- 01 特集 11年ぶりに新嘗祭へ供える稲を刈り取る
畑嶋賢蔵さん献穀田で抜穂祭を執り行う
- 03 カメラレポート
- 07 胆振東部地震後、初めてとなる稲刈り
営農再開まで辛い日々を過ごす
震度7を観測した胆振東部地震から3年
厚真町で追悼式が執り行われる
- 08 災害を風化させないために「防災の日」実施
防災意識の向上と備えを推進
- 09 北海道最低賃金
- 10 期待の農力 村田和之さん
- 11 ワンポイント営農情報
- 12 あぐり講座
- 13 JAからのお知らせ
- 14 JAグループ通信
- 裏表紙 令和3年11月からの営業時間一覧表
20周年記念 圃場等立入禁止看板(ステッカー)
設置助成事業について



胆振東部地震により広範囲で山腹崩壊が発生した厚真町吉野地区での1枚。黄金色に実り収穫を待つ稲穂に赤トンボが止まり、一休みする様子。



JAとまこまい広域では実りの秋を迎え、宮中行事の新嘗祭へ供える献穀米を収穫する儀式の「抜穂祭」が9月22日、厚真町東和地区畑嶋賢蔵さん(61歳)の水田の一角に設けた献穀田1aで執り行われ、JAとまこまい広域の宮田広幸代表理事組合長をはじめ、関係者ら約60名が参列した。献穀田の設置は、平成22年にも実施され今回で11年ぶり6回目をかぞえる。

新嘗祭とは、天皇陛下が全国各地から献上された新穀を神々に供え、陛下自ら召し上がり神の恵みに感謝する宮中恒例祭典の中でも最も重要とされている行事の一つとされている。

当日は、あいにくの曇り空の中ではあったが、献穀田の脇に設けた祭壇で執り行われた「令和3年度新嘗祭献穀抜穂祭」では、抜穂の儀において田長を務める同JA宮田組合長、耕作長の畑嶋氏のほか、宮坂尚市朗厚真町長等の来賓へ鎌が手渡され、黄金色に実った稲穂(ゆめぴりか)が刈り取られた。刈り取られた稲穂は4人の刈女を通じてテーブルに並べられ、田長と耕作長がテンポよく稲を束ね、はさがけが行われた。

抜穂祭を終え田長の宮田組合長は「畑嶋賢蔵さんにご家族におかれましては、良質米生産の技術を遺憾なく発揮され、当地区を代表して肥培管理して頂いたことに敬意と感謝を申し上げます」と挨拶した。また宮坂町長は「丹精込めたお米が素晴らしい実りを迎え、生産者からも満点の出来との声が挙がっています。また現在米価が懸念されていますが、このような時こそ品質が大いに力を発揮する時です。ブランドをしっかりと形成し産地として販売に尽力して頂ければと思います」と話した。

献穀者の畑嶋さんは「今年は天候に恵まれ粒数が多く平年よりも良い出来となった」と話した他、「今回の新嘗祭への献穀は、3年前の胆振東部地震からの復興ということを皆様にお伝えする気持ちでやらせて頂いた。無事に抜穂祭を終えることができホッとしているが、天皇陛下へしっかりとお届けするまで少し作業が残っているので気を抜かず頑張りたい」と今の気持ちを話してくれた。今回献穀田が設けられた水田は、胆振東部地震で導水管が破損し、2年間修繕のため未作付けとなっており3年ぶりの収穫を迎えた。

宮中で行われる新嘗祭は、例年10月下旬頃に皇居内で行われ刈り取られた米は畑嶋さんの手で乾燥調整され、約5合(精米された0.9L)が献上される。

広域

厚真地区農産物集出荷貯蔵施設

震災復興施設へ南瓜の受け入れが始まる

J Aとまこまい広域は8月27日、厚真地区農産物集出荷貯蔵施設へ南瓜の受け入れを開始し、60tが入庫した。

同施設は、2018年の北海道胆振東部地震で農業倉庫が被災し、町より全壊判定が下されたことを受け、代替えとして建設された。旧施設は管内の主要農産物である米の保管場所に使われたことから、新たな保管場所の確保が喫緊の課題となっていた。併せて近年作付面積が増加傾向にある南瓜の労働力軽減と品質安定化のために、令和元年度中山間地域所得向上支援事業（町事業名…令和元年度農産物集出荷貯蔵施設整備事業）を活用し、2020年7月1日に着工をはじめ、2021年2月26日に竣工を迎えた。



▲初の入庫となる南瓜



▲すでに入庫済みとなっていたフレコンに詰められたお米

J Aでは、その他の施設も全壊等の判定を受け、行政や各関係機関より多くの支援を受けながら修繕及び整備が進められてきたが、本施設の完成を以てすべて完了となった。

延べ床面積1,700㎡（内、下屋287.5㎡・常温庫562.5㎡・低温庫850㎡）で常温庫及び低温庫を完備し、常温庫には8月～11月頃にかけて南瓜が保管され最大233tを貯蔵。その他の期間では、約690tの米の保管が計画されている。低温庫には通年米が保管され、約910tの貯蔵が見込まれる。南瓜の受け入れに先立ち、3月の竣工式後すでに前年産米が入庫されているが、今年度産米は9月中旬頃より本格的に収穫が開始され、乾燥調製が行われ次第随時保管される予定だ。

広域

続々と黄金色になった稲が刈り取られる

広域管内、実りの秋を迎える

J Aとまこまい広域の水稲生育は、移植時期直後の日照不足・低温があったが、6月中旬以降好天に恵まれ、例年より早い生育となった。毎年行われる各支所での稔実調査では不稔が例年より少なく、粗数も多めとなる結果となった。北海道全体は「やや良102～105」と見込まれると、8月15日現在の概況を北海道農政事務所は発表した。

広域管内の穂別地区でも昨年より5日早い9月3日から清川伊代さんが稲刈りをスタートさせ、15日に初米検査（※広報誌カメレポP6の穂別地区参照）を実施し初出荷を迎えた。また同管内の厚真地区では、13日にはライスセンターで生



▲たんとうまいST（厚真町）での受け入れの様子



▲管内で最初に稲刈りをスタートさせた穂別地区の清川さん



▲黄金色に実った稲穂 厚真町豊沢地区の上空から

（乾燥せずに刈り取り直後の籾）での受け入れを開始し、1日最大200t、250tの出荷を予定する他、翌日にはたんとうまいSTで半乾の受け入れが始まり、翌週20日から受け入れのピークと予想されることから地区ごとに出荷制限をかけ、1日最大300t～330tの受け入れ数量を見込んでいる。

令和3年度産は2,282haが作付けされ、11,900t販売取扱量を計画する。

広域

J Aとまこまい 広域青年部

花嫁対策に向けオンライン婚活実施

J Aとまこまい広域青年部は8月28日、婚活イベント会社のめぐりマッチとタイアップしオンライン婚活を実施した。昨年は、新型コロナウイルス感染症拡大を鑑み中止としたが、若手農業者の花嫁対策は青年部活動において極めて重要と判断し、本年は初めてオンラインを活用した開催に踏み切った。

事前講習会として同社のアドバイザーを務める野澤みゆき（農婚シエルジュン）さんを招き、マンツーマンで会話することとスポットを当て、会話の引き出しを増やすことや、実際に受講者同士で実演するなど当日に向けて対策を練った。講習会の最後に野澤さんから「自分から心



▲野澤さんによる事前講習会で絵本を用いたコミュニケーション術を学習

を開くことを心がけて下さい。また、十人十色という言葉のように、人それぞれ考え方が違うので自分の個性を大事にして下さい」と激励の言葉がかけられた。当日は、青年部員4名が自宅から参加し、道内在住の女性3名と交流を図った。横井陽大代表取締役が司会進行役を務め、サポート役に野澤さんと同部の渡部大樹部長が同席した。全体で顔合わせを行った後、10分ずつそれぞれマンツーマンでの会話を楽しみ、サポート役が不要なほど終始スムーズに進み終了した。参加した部員からは「農業に興味のある女性を集客してもらったため、会話が弾み楽しい時間を過ごせた」との感想が寄せられた。

今後は、青年部の意向を確認しながらオンライン婚活を含む、花嫁対策に力を入れて活動推進していく予定だ。



▲参加者で記念写真

苫小牧 早来・厚真

デントコーン収穫作業始まる

農事組合法人「らくのう」

農事組合法人「らくのう」（谷口隆昌組合長）によるデントコーン収穫作業が8月24日から谷口組合長の圃場を皮切りに始まった。苫小牧地区・早来地区・厚真地区21戸の構成員から321haの面積を受託し、10月中旬まで行われる予定だ。自走式ハーベスタで刈り取られ細断されたデントコーンは、大型タンクで堆積場へ運ばれ、専用の機械でチューブバックに圧力をかけながら詰込み約1～2カ月をかけサイレイジへ調整される。そのため踏圧作業が不要となり作業時間が従来より短時間で終わることが出来る。今回取材した苫小牧市にある溝口牧場では



▲デントコーンがチューブバックに詰め込まれている様子



▲自走式ハーベスタによる収穫（苫小牧市）

「1週間かかっていた収穫が同法人へ委託するようになり、2日間で終わることができるようになった」と話す。

作業面積も平成27年に同法人が設立された当初の213haから徐々に増加する。委託する生産者は「この法人が設立したおかげで、適期収穫ができるようになり餌の品質が向上した」と話すほど、重要な存在となっている。

同法人は自走式ハーベスタ等の大型機械を導入し共同利用し、農作業効率と労働生産性の向上と地域農業の安定的な経営を図ることを目的に平成27年に設立された。6月のグラスサイレイジの収穫作業を始め、簡易耕起及び整地作業と播種作業の取り組みも行っている。

厚真

(株)セコマから新発売

厚真産ハスカップジェラート

(株)セコマは9月11日より厚真産ハスカップを使用した「Secoma北海道ハスカップジェラート」を発売した。厚真産ハスカップの産地を抱えるJAとまこまい広域では、生産量拡大と消費拡大に加え、ブランド化を目標に掲げており、かねてより(株)セコマへ「厚真産ハスカップを使用した商品の開発ができないか」と提案、協議を重ねてきた。

2016年の夏には、豊富町産牛乳をベースに香料・着色料を一切使わずハスカップの爽やかな酸味が感じられるアイスを発売。これを皮切りに素材の味が楽しめる計5つの商品がこれまで販売されており、本年6月末でハスカップを使用



▲Secoma北海道ハスカップジェラート



▲新商品お買い求め下さい

したアイスクリーム、ソフトクリームの累計販売数は110万個を突破している。11日から発売開始されたジェラートは、2019年5月16日に厚真町と(株)セコマが締結した「まちづくり連携協定」に基づく双方の資源を有効活用した協働活動の一環として商品開発されており、密度の濃いねつとりと重みのある食感と、ハスカップの甘酸っぱさが味わえるリッチな商品に仕上がっている。

お買い求めはJAとまこまい広域のAコープ厚真店、及びセイコーマート全店(北海道・茨城県・埼玉県)やハセガワストア、ダイエー、ハマナスクラブから。価格は北海道が本体価格200円(税別)、茨城県及び埼玉県では本体価格220円(税別)で販売となる。

穂別

全量1等米と低たんぱく質米となり
幸先の良いスタート切る

穂別地区「令和3年度米初検査」

令和3年度米の初検査が9月15日、JAとまこまい広域穂別支所米検査場にて行われ、穂別地区の清川正さん、平丘地区の清川伊代さん、安住地区の森本敏規さんが初出荷を飾った。

当日は、「ななつぼし」672袋(30kg袋)と「おぼろづき」42袋(30kg袋)が検査され、全量1等米という幸先の良いスタートとなった。また、タンパク値は「ななつぼし」で5.4%、6.4%、「お



▲初出荷された米を検査する検査員



▲初出荷を飾った森本さん(写真左)、清川伊代さんの父三十四さん(写真中央)、清川正さん(写真右)

ぼろづき」で5.5%となり、6.8%以下の全量「低タンパク質米」となった。本年の水稲は夏期の高温による障害が心配されたものの、9月上旬に行われた収量調査結果で平年以上の収量が見込まれ、今後の出荷にも期待がもたれている。初出荷に合わせて行われたセレモニーでは、宮田広幸組合長の他、各関係機関が出席し、出荷者に記念品を贈呈した。

厚真

なんばんみそ仕込み始まる

広域女性部厚真支部の加工部

JAとまこまい広域女性部厚真支部の加工部は、8月下旬から2回に分け広域オリジナル商品「なんばんみそ」の仕込みを厚真町にあるJA加工施設で行った。平成16年に同商品が広域オリジナルとして製造されてから味付けは変えておらず、長年多くのお客様にご賞味いただいている。

原料となるみそは厚真町産の大豆と米を使用する他、同商品のなんばんを女性部員により栽培するなど同町産にこだわって製造している。女性部員は「以前、別のなんばんで製造したが、このなんば



▲火にかけ始めた鍋①と1時間火にかけた鍋②



▲2時間火にかけ完成

んでなければこの味が出せなかったと話し、変わらない味の秘密を話してくれた。仕込みは、細かく刻んだなんばんにみそとザラメの他にみりんを味を調え、2時間ヘラでかき混ぜながら火にかけ完成となる。仕上がりは、色が黒くなりヘラですくっても落ちない程度で、最後に佐藤美奈子加工部長が見極め完成する。今年は180kgを仕込み、随時小袋に分けられ厚真店・穂別店のAコープ、白老支所、苫小牧市内のホクレンショップ等で販売する。

佐藤美奈子加工部長は「厚真町産にこだわって製造しているので、ぜひ皆さんに食べて頂き「なんばんみそ」のファンになってもらいたい」と話す。

穂別

石崎憲一氏が6カ年連続で受賞

「ゆめぴりか良質米生産出荷表彰優秀表彰」

JAとまこまい広域穂別地区の石崎憲一さんは、「ゆめぴりか良質米生産出荷表彰優秀表彰」を6カ年連続で受賞し「ゆめぴりかの匠たち」に選ばれた。

生産者組織「北海道米の新たなブランド形成協議会」では、高品質な「ゆめぴりか」を出荷した生産者を対象に「ゆめぴりか良質米生産出荷表彰」を行っている。



▲令和3年度産のゆめぴりかを収穫する様子

当JAからも「優秀表彰」金色認定マーク、「優良表彰」えんじ色認定マークを多数の生産者が受賞しているが、表彰制度が始まった2015年から6カ年連続で「優秀表彰」金色認定マークを受賞した生産者は、穂別地区の石崎憲一氏のみ。9月10日に掲載された日本農業新聞には、「おいしさ信頼を守りぬくゆめぴりかの匠たち」として紹介された生産者の一覧に名を連ねた。この表彰は、「ゆめぴりか」作付生産者に対して、基準内品の生産並びに協議会の取組参画への敬意を兼ね、授与品を贈呈し作付生産者の意識向上、及び認定マークの認知向上を図ることを目的に開催されている。

災害を風化させないために「防災の日」実施 防災意識の向上と備えを推進

JAグループ北海道は昨年度、9月6日を「防災の日」と定め、9月1日から6日までを防災期間として位置づけ、防災意識の向上や今後の災害への備えを推進することを決定した。

北海道胆振東部地震の震源地である厚真町を管内に抱えるJAとまこまい広域も毎年9月6日を「防災の日」と独自に設定し、震災を教訓とし災害への認識を深め、心構えと備えを充実し被害の未然防止と軽減を図るべく、常勤役員が管内6支所に出向き、地震で犠牲になられた方々へ黙祷を捧げたのち、JA綱領を職員とともに唱和した。

また、地震発生によりブラックアウト(大規模停電)が地域の生活と地震後の復旧に多大な影響を及ぼしたことを大きな問題ととらえ、この経験を風化させることなく今後の予測不能な災害に備えることを目的とし、各給油所に設置した非常用電源の動作確認を行った他、JAが備える非常食の賞味期限の確認、入替を実施した。

宮田広幸組合長からは「犠牲になられた方々に哀悼の意を表し、震災からの復興を誓うとともに災害を風化させることなく、突然の災害に備え対処できる体制を整えていきます」と挨拶した。



▲震災で亡くなられた方々へ黙祷

防災の日での取り組み内容

1. 非常時備蓄品の備品リストの点検
 - ①本支所保管の災害用備品の保管状態、数量、使用期限
 - ②保管場所、収納物品の周知
 - ③自家発電機の試運転と使用方法の再確認
2. 避難経路及び避難訓練実施計画の確認
 - ①避難訓練の実施
 - ②経路上及び避難口に書類が置かれていないか確認
3. 緊急連絡網の確認
 - ①名簿の整理確認
 - ②各自連絡体制の確認



▲JAの社会的役割を唱和



▲組合長による発電機の動作確認

胆振東部地震後、初めてとなる稲刈り 営農再開まで辛い日々を過ごす

3年前の2018年9月6日未明に発生した北海道胆振東部地震の影響により、厚真町幌内地区で営農する末政知和さん(28歳)の水田一部や倉庫などへ土砂が襲い、農地など60%が被害に見舞われた。震災同年に祖父の清さんから経営移譲を受け、これから頑張っていこうと考えていたそんな矢先の被災で稲刈りを断念せざるを得なかった。

北海道の要請で、地域の復旧のため土砂の仮置き場として水田を貸し出すこととなり19年、20年と作付けが出来ず「皆が営農する姿を見て、自分だけが取り残されているように感じるようになり、水田まで行けない状態となり精神的に参っていた」と当時を末政さんは振り返った。



▲黄金色に実った稲穂と後ろには復旧された山腹



▲初となる稲刈りに挑む末政さん

今年は区画整備が完了した親戚の水田6.5haを借りた他、施設などは道と町の補助金を利用して新調し、3年ぶりとなる営農をスタートさせた。末政さんは「作付けできるようになり楽しい。これから2年分を取り戻す気持ちで営農に励みたい」と話す。また「田植えからあつという間に稲刈りを迎えたという気持ち。初めて一人での作業だったので効率的に動くことが難しかったが、たまたまよく収穫を迎えることができて嬉しい」と営農再開できた喜びを話してくれた。今後は幌内地区の高齢化も進み農家戸数も減少することが予想される中で「同地区の友人と協力して地域の農業を守っていくため、もっと精進していきたい」と今後の意気込みを語った。

震度7を観測した胆振東部地震から3年 厚真町で追悼式が執り行われる



▲追悼式「厚真町提供」



▲慰霊碑の除幕式「厚真町提供」

完了となった。土砂流入した農地は一部を除き概ね復旧し、作付け出来ずにいた生産者も今年から営農を再開した。しかし、作物が生育不良となる場所があり、土壌改良等課題が残るため完全な復旧には至っていない。組合員の所得向上や安定した生活の確保のために、JAを始め各関係機関による早期解決が求められている。

北海道胆振東部地震発生から9月6日で3年を迎えるのを前に厚真町では5日、町総合福祉センターで追悼式を開いた。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、遺族と町内の関係者に限定して行われ約80名が参列し、献花台に花を手向け哀悼の意を捧げた。一般参列者は式後に自由献花が行われ犠牲者のご冥福を祈った。

北海道胆振東部地震では道内は初めて最大震度7が観測され、災害関連死を含め44名の尊い命が奪われ重傷者は51名にのぼった他、同町では大規模な山腹崩壊により土砂が民家を襲い37名が犠牲になった。

5日の追悼式に先立ち、同町京町にあるつたえり公園(町総合福祉センターゆくり横)で慰霊碑の除幕式が行われた。太陽をイメージした御影石の円盤に地震発生時刻の午前3時7分を示す時計の針が刻まれた輪がデザインされ、高さ2m・幅2.3mの大きさと建設された。碑には同町で犠牲になった37名の名前が刻まれている。

震源地を管内に抱え大きな被害が発生したJAとまこまい広域は、今年の2月に同町上野地区の貯蔵施設完成を以て修繕及び整備が全て



▲追悼式で式辞を述べる宮坂尚市朗厚真町長「厚真町提供」

さんさんかがや
期待の農力



就農して初めて知る、
課題を改善する大変さと楽しさ

▲牛舎で給餌をする様子



むら た かず ゆき
村田 和之さん(32歳) 厚真町鯉沼

和之さんは、村田家の次男として厚真町に生を受け、現在は父の久明さん(71歳)と母の美智子さん(64歳)の3人暮らしで就農して5年目を迎えた。搾乳牛29頭(乾乳牛含む)に加え育成牛4頭を飼育する他、牧草約17ha、デントコーン約6ha、合計19haを飼料原料として作付けする。

就農までの道のり

岩見沢農業高校に進学し畜産について学ぶ傍ら、バレー部に所属していた和之さんは「学生時代はどちらかというと勉強より部活に熱中していた」と笑いながら話してくれた。そんな和之さんも卒業後は、実家の後継ぎを見据え実践的な酪農技術習得のため酪農ヘルパーとして帯広市で1年、安平町で9年従事し平成29年に就農した。

実際に就農してみても

給餌や牛舎の掃除、搾乳など朝5時から両親と分担をしながら作業にあたっている和之さん。「自らが経営者側の立場となることで、ヘルパー時代には感じなかった課題に直面し、それを改善する大変さを改めて知ったが、楽しい」と話してくれた。この課題を解決する力は、ヘルパーとして10年間働いた経験が色々な視点で捉える能力を育み今活かされている。しかし、「課題を克服したか」と思うと、経費がかかってしまいう等、現実と理想の壁にぶつかってしまふことがある」と経営する大変さも話してくれた。

今後の目標

今後の目標はという問いに和之さんは、「現状に満足することなく、課題を見つけクリアしながら少しずつ規模拡大していきたい。また、目標に向けてひた走るのはなく、その都度状況を見ながら立ち止まり、臨機応変に方向を変えながら安定した経営をしていきたい」と今後に向けた思いを話してくれた。またインタビュー中に「人付き合いがあまり得意ではない」と話してくれた和之さんだが、当時熱中していたダンスを通して知らない人とのコミュニケーションを図った体験談を聞かせてくれた。仕事のみにかかわらず不得意なことへ挑戦する姿勢を見せる和之さんの今後の活躍に期待したい。

みんなチェック! 最低賃金。

北海道最低賃金

北海道内の事業場で働くすべての労働者(会社員、パート、アルバイトの方、学生さんなど働くすべての人)及びその使用者に適用される北海道最低賃金が次のとおり改定されます。

時間額 **889円**

(効力発生年月日 **令和3年10月1日**)

○最低賃金には、**精皆勤手当、通勤手当、家族手当、臨時に支払われる賃金及び時間外等割増賃金**は算入されません。

○特定の産業(「処理牛乳・乳飲料、乳製品、糖類製造業」、「鉄鋼業」、「電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造業」、「船舶製造・修理業、船体ブロック製造業」)で働く方には、北海道の特定(産業別)最低賃金が適用されます。

・厚生労働省北海道労働局 労働基準部 賃金室 Tel011-709-2311(内線 3533)

・札幌中央 労働基準監督署 Tel011-737-1191	・滝川 労働基準監督署 Tel0125-24-7361
・札幌東 労働基準監督署 Tel011-894-2815	・北見 労働基準監督署 Tel0157-88-3983
・函館 労働基準監督署 Tel0138-87-7605	・室蘭 労働基準監督署 Tel0143-23-6131
江差駐在事務所 Tel0139-52-1028	・釧路 労働基準監督署 Tel0154-45-7835
・小樽 労働基準監督署 Tel0134-33-7651	・名寄 労働基準監督署 Tel01654-2-3186
倶知安支署 Tel0136-22-0206	・留萌 労働基準監督署 Tel0164-42-0463
・岩見沢 労働基準監督署 Tel0126-22-4490	・稚内 労働基準監督署 Tel0162-23-3833
・旭川 労働基準監督署 Tel0166-99-4704	・浦河 労働基準監督署 Tel0146-22-2113
・帯広 労働基準監督署 Tel0155-97-1243	・苫小牧 労働基準監督署 Tel0144-88-8899

さんさん あぐり講座

胆振農業改良普及センター東胆振支所

次年度に向けた ほ場管理について

収穫後のほ場管理により、次年作に備えましょう。

1 たい肥の施用による「土づくり」について

たい肥の施用は、土壌の化学性・物理性・微生物性を改善し、「土づくり」に非常に有効です。各たい肥の特性と含有成分を参考に(表1,2)、適正量のたい肥散布に努めましょう。減肥可能量は、てん菜での事例を示しているため(表2)、生育期間の短い作物では、これより少なく減肥しましょう。

表1 たい肥の分解特性と施用効果(◎:大きい、○:中程度、△:小さい)

たい肥の種類	C/N比	初年度の分解速度	施用効果		
			肥料的	肥沃度	有機物
乾燥鶏ふん	10以下	速やか(年60-80%)	◎	△	△
乾燥牛ふん、豚ふん	10~20	中速(年40-60%)	○	○	○
バークたい肥	20~30	非常に遅い(年0-20%)	△	○	○

表2 各種たい肥の含有成分

種類	混合副資材	含有成分(kg/現物t)			適正量(t/10a)		減肥可能量 [*] (kg/現物t)
		窒素(N)	リン酸(P ₂ O ₅)	カリ(K ₂ O)	連用	最大	
鶏ふん	—	25-60	15-50	10-35	0.3	0.5	13
牛ふんたい肥	敷料:麦稈、 稲わら等	6	4	5	1~3	5	1
豚ふんたい肥		11	15	7	1	3	3.7

※「北海道施肥ガイド2020」てん菜Nスコア法より(「北海道における有機資材の利用ガイド」北海道農政部より)

2 心土破碎による排水対策の実施について

暗きよの効き目を確認し、透排水性が悪い場合には、「心土破碎」を実施し、耕盤層を破壊しましょう。

施工時のポイント

- ①土が乾いた条件でかける。
- ②ゆっくり(歩く速さ程度)かける。
- ③暗きよ管と交差させ、間隔を狭く。
- ④耕盤層の深さ程度深くかける。



サブソイラによる心土破碎

ワンポイント営農情報

東胆振地区施肥ガイドブック 発行

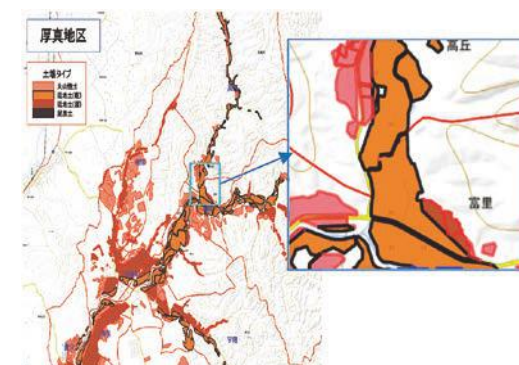
北海道施肥ガイド2020発行に伴い、東胆振地区施肥ガイドブックの内容を更新し、9月に全戸配布致しました。より見やすく、わかりやすい内容に一部変更致しましたので、施肥設計にお役立てください。

土壌分析結果から自身で施肥設計する場合は、各作物毎の土壌診断に基づく施肥対応を参考にしてください。

① 土壌図を更新しました

土壌区分図を刷新。PDFデータをJAホームページの組合員専用ページで確認する事が可能です。

ホームページ上でも各支所毎に土壌図を掲載。
自身の圃場の土壌タイプを容易に確認する事が可能。
圃場図面作成の際に活用出来ます。



② 土壌の特徴を更新しました

H28~R2迄の土壌分析データを基に、作物毎の土壌の特徴を更新しました。

H28発行ガイドブックとの比較では、積極的な土壌分析により、適正範囲に矯正されている事が見てとれます。

③ 作物毎の施肥設計について

①標準施肥量→②土壌診断による施肥対応→③施肥例とし、わかりやすく表示。



JAホームページ
QRコード

東胆振地区の土壌区分図を各支所毎に掲載しております。
営農計画作成時の圃場地図として、活用してはいかがでしょうか。



シリーズNO.22 おいしい米づくり

良好な出芽を確保するために浸種作業の再確認を

今年の育苗初期の天候は、4月下旬は氷点下を下回る日が続き、5月に入ると最高気温が低めの日が続き、一部で低温による発芽障害が見られました。

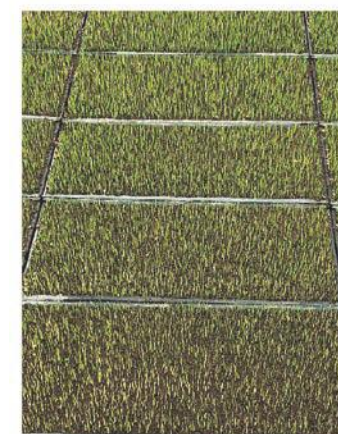
2017年以降、4月下旬に最低気温が氷点下4℃以下となった年は3回ありました。播種作業時は、気象情報に注意し、二重被覆などの準備をお願いします。

また、低温時に良好な出芽揃いを確保するには、種籾の浸種にも注意が必要です。浸種作業は、浸漬の日数より、水温管理が大切となります。浸種時の水温が一定となるよう、必要に応じて加温や保温対策の導入を検討して下さい。

表 浸種温度の違いによる低温時の出芽状況

浸種温度	浸種日数	は種後7日目の出芽率
適温(12℃)	10日間	70%
低温(7℃)	10日間	35%

(H25 上川地域農業技術支援会議資料より)



浸種の基準：水温11~12℃、浸漬日数5~6日

※登熟期間が高温暖の種子は、浸漬日数を2~3日延長する

北海道コンサドーレ札幌 栗山トレーナーによる 農作業にも役立つ セルフコンディショニング講座

選手達のコンディショニング、フィジカルトレーニングを担当している栗山渉トレーナーが、誰でも簡単にトライできる、セルフコンディショニングの方法をご紹介します！スポーツをしている人も、していない人もチャレンジしてみましょう！

北海道コンサドーレ札幌と
JAグループ北海道は
食農パートナーです！

今回のテーマ

肩こり緩和のための
セルフマッサージ&ストレッチ

今月は長時間の座り作業による身体のトラブルを改善するためのエクササイズを紹介します。

座位姿勢が長時間に及ぶと、肩、胸の筋肉が硬くなってしまい、猫背やストレートネックなどの不良姿勢を助長させてしまいます。このような姿勢のまま座り作業を続けてしまうと、**肩コリがひどくなったり、頭痛が生じてしまうこともあります。**

まずは2個のテニスボールを使って首、背中の筋肉のコリをセルフマッサージで柔らかくしましょう。その後、筋肉を心地よくストレッチして**首、肩、背中の筋肉をリフレッシュ**しましょう。

※エクササイズをすることで肩、首に不愉快な痛みが生じる場合はすぐに中止して下さい。強い痛みが継続する場合は整形外科を受診することをお勧めします。

準備するもの

テニスボール2個と靴下を用意し、靴下の中にボールを入れて結びます。

セルフマッサージのターゲット

- ①：首の付け根
- ②：首と背中の境目
- ③：②から5cm下
- ④：③から5cm下

1 首のセルフマッサージ

- 1 仰向けに寝て、首の付け根（①の部分）にテニスボールを当てる。両手を添えるとテニスボールを固定しやすい。
- 2 リラックスして20秒間静止し、頭の重みでじんわりとマッサージ。
- 3 頭をゆっくり小さく左右に20回動かして、さらにマッサージ。



2 背中のセルフマッサージ

- 1 仰向けに寝て、首と背中の境目あたり（②の部分）にテニスボールを当て、両手を前で組む
- 2 リラックスして20秒間静止し、体の重みでじんわりとマッサージ。
- 3 体をゆっくり小さく左右に20回揺らして、さらにマッサージ。
- 4 テニスボールの位置を③にずらして、同様の手順でマッサージ、その後に④も行う。



3 胸の筋肉のストレッチ

- 1 肩の高さまで腕を上げて壁に手をつく
- 2 反対側を見るようにして胸を開き、心地よく胸の筋肉がストレッチされた状態でキープ
- 3 3セット終わったら、反対側も同様に行う



4 首から肩の筋肉のストレッチ

- 1 両手を腰に組む
- 2 頭を横に倒していき、首から肩にかけて、心地よくストレッチされる角度で20秒キープ
- 3 左右交互にストレッチを3セットずつ行う。



JA 日誌

2021 10月

16日(土) たるまえサンフェスティバル(～17日)

17日(日)

18日(月) JA共済連北海道本部運営委員会(札幌)web

19日(火) 厚真ダム水神宮落式

20日(水)

21日(木) 信連窓口職員(初・中級)研修会～22日

22日(金) 第9回不祥事再発防止検討委員会(予定)

23日(土) 初級筆記試験

24日(日)

25日(月) 日胆地区JA組合長会(苫小牧)

26日(火) 第9回企画会議、第5回地区担当理事会議

27日(水)

28日(木)

29日(金) JA全国大会(web)、退職辞令交付

30日(土) 苫小牧消費者協会 消費生活展

31日(日)

2021 11月

1日(月) 白老支所営業時間変更

2日(火)

3日(水)

4日(木) 常勤理事研修～5日、ホクレン肉牛市場

5日(金) ホクレン乳牛市場

6日(土) 中級筆記試験

7日(日)

8日(月) 課長塾(1班)

9日(火) 課長塾(2班)

10日(水)

11日(木) 農業経営診断士筆記試験

12日(金) 第55回JA北海道女性大会・北海道家の光大会(Youtube配信)

13日(土)

14日(日)

15日(月)

JAコネクト使用方法について

JAコネクトをご利用頂きありがとうございます。

未利用の方につきましても利用申込みは随時受け付けておりますので宜しくお願い致します。JAコネクト使用方法のご案内について、当JA「ホームページ」→「組合員専用」の中に掲載しておりますのでご利用下さい。

JAとまこまい広域ホームページ <http://www.ja-tomakomaikouiki.com/>

※JAコネクトの利用申込みの方は、各支所へ申込み願います。

※組合員専用ページへアクセスする際には、IDとパスワードが必要となります。不明な方は各支所へお問い合わせ願います。

JAとまこまい広域苫小牧支所移転のお知らせ

日頃からJAとまこまい広域苫小牧支所をご利用頂き、誠にありがとうございます。

このたび、事務所の老朽化にともない苫小牧支所事務所を以下の通り移転する運びとなりましたのでお知らせ申し上げます。旧苫小牧市農協時代からご愛顧頂き改めてお礼申し上げます。

お客様には大変ご迷惑をおかけしますが、今後とも変わらぬお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

●現事務所での営業 令和3年12月3日(金)まで

●移転先での営業 令和3年12月6日(月)から

●新 住 所 苫小牧市若草町5丁目5番3号 日胆農業会館1階

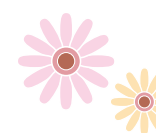
●電 話 番 号 0144-84-5117(番号が変わります)

●ファクシミリ 0144-84-6763(番号が変わります)

※ATMはホクレンショップFoodFarm苫小牧しらかば店に移設し、12月6日(月)から営業致します。

お悔やみ

謹んでご冥福をお祈りいたします。



月日	地区	氏名	享年
9/18	厚真町	加川 澄乃さん	94
9/19	厚真町	砂川 芳雄さん	90

ホクレン南北海道 黒毛和種市場 広域農協支所別取引成績9月) 令和3年9月2日

	性別	成立頭数(頭)	価格平均(円)	平均日齢/体重(kg)	平均kg/単価(円)
白 老	去勢	42	705,690	1.154	2,055
	雌	17	620,000	1.070	1,956
苫小牧	去勢	6	707,000	1.180	2,099
	雌	5	540,200	0.961	1,878
早 来	去勢	34	718,206	1.199	2,098
	雌	16	611,750	1.079	1,931
厚 真	去勢	26	732,923	1.201	2,118
	雌	23	623,391	1.091	1,941
穂 別	去勢	28	771,250	1.257	2,169
	雌	23	617,957	1.085	1,900
追 分	去勢	6	749,833	1.284	2,080
	雌	2	603,500	1.071	1,901
とまこまい 広 域	去勢	142	728,521	1.199	2,103
	雌	86	613,802	1.075	1,927
胆 振 管 内	去勢	249	739,783	1.183	2,181
	雌	142	614,824	1.062	1,956
市 場 計	去勢	963	710,848	1.142	2,156
	雌	631	600,726	1.030	1,939

※新型コロナウイルスの影響により中止となる場合がありますのでご了承下さい。